なないろの

私は、16 才よりこの建築大工の道に進み、現在に至っております。常々建築の仕事は施主様の夢や想いを カタチにさせていただく事だと考えております。カタチにするにはやはり木造在来工法で建てる家が一番 であるとも考えます。

大工道具を使いこなせるまでに 10 年はかかったでしょうか...。木の資質(癖)を見極める目利きを身に付 けるにも 10 年は必要だったような気がします。大工の仕事は決して派手なパフォーマンスの出来る仕事 ではありません。地味で根気を必要とする仕事です。ただ、その全てを身に付ける事により墨付けから刻 み、組立までのほとんどの工程を一人で出来るようになり一人前となります。こうして身に付けた確かな 技術を持って施主様の家造りに打ち込むのです。

私の元には、今3人の見習生と、この3人を指導しながら見守る熟練の職人(技術者)が3人います。見て 覚える!仕事(技術)を盗め!とは今の時代には合わないのでしょうか。そんな中、見習生の3人は一歩ず つ先を見つめています。やがて在来工法で一人一人が身に付けた技術の確かさを、私が行って来たように 家造りに打ち込んで施主様に喜んでいただける日が来る事と思います。

デザイン・住まい方は年々変わってきていますが、確かな技で造り上げたものは 10 年~20 年経っても強 固に建ち続くものです。絵画や焼物のように住宅も立派な作品であるとも考えております。使えば使いや すく、見れば楽しい夢・輝きの感じる家造りを是非!地元で頑張る私達にお任せください!!



無機等/ 「欧地州ペーエフXRL工 1963年 新潟県系原川市民場村に生まれる 1963年 16 子で15県英三氏に弟子入りし技術を学ぶ 1963年 「福建計士改博 現在 なご会社とタキノウス ・M・H・1総合金両代表

~この提案型住宅は~

3年前、あの糸魚川大火でミタキハウスが建築し【奇跡の家】として残った 一軒家の仕様を基に更に見直しをし、火災・地震・強風・寒さ、暑さに耐え られるよう工夫した住宅です。

OOCENNIKY

①火災から我が家を守る』

国土交通大臣認定・準不燃材

耐力面材「大壁仕様」

柱の外面に

耐力面材(9 mm) 🕂 石膏ボード(厚 12.5 mm) 🐈 外壁サイディング(厚 16.0 mm)

②地震・強風から我が家を守る√ _{国土交通大臣認定材}

③寒い冬・暑い夏から我が家を守る』

外部からの熱を シャットアウト!!



3重什トげリ

内壁は、身体にやさしい健康素材

地元産杉羽目板・和紙貼り

























間取り図



たのしい手 くり住宅のバ

号新潟県知事(3) Tel 025-555-2566 フリーダイヤル01